

国土交通省道路局長 殿

東山先生印

連絡先：蒲郡市建設部
電話：0533-66-1174（直通）
FAX：0533-66-1191

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

愛知県蒲郡市

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

道路は、市民生活や経済社会活動を支える最も基本的な社会資本であり、豊かで活力ある地域社会の実現のために、道路を計画的に整備・維持管理することが重要である。

当地域は、自動車交通への依存度の高いうえ、市外からの流入車両の増加に伴い各所で渋滞が生じており、市民生活に支障が出ている。そのため、国道23号蒲郡バイパス、国道247号中央バイパスなどの幹線道路整備が必要不可欠な状況となっている。

安心して快適に暮らせるまちづくりの実現と地域産業物流の円滑化を図るための道路整備を体系的、計画的に推進する必要がある。

また、今後急速に高齢化していく多くの道路ストックを適切に維持、管理、更新していくことも重要である。

これらの課題に対処し、地方が真に必要な道路整備や維持管理を計画的に進めるためには、安定的な財源確保が必要である。

道路特定財源については、来年度から一般財源化される方針が示されているが、当市において道路整備や維持管理は道路特定財源だけでは不足しており、不足分を一般財源と地方債で賄っているのが実情である。

よって、道路特定財源の一般財源化後も、地方税及び譲与税分とともに、交付金、補助金として従来から地方に配分されていた道路整備財源以上の額を「地方枠」として確保していただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

様式 ②

愛知県蒲郡市

○現状	○課題
本市の地形は、南側を三河湾に、北側を宝飯山地に囲まれているため、主要な交通は東西方向とならざるを得ず、狭い区間に道路や鉄道が集中している。 また、本市の西側には、豊田市をはじめ安城市・刈谷市・西尾市・幸田町といった自動車産業を中心としたものづくりの盛んな市町があり、東側にも田原市・豊橋市・湖西市といった自動車産業を中心としたものづくりの盛んな市町（すべて工業出荷額１兆円以上）が位置しているほか、自動車の輸出入金額で日本一の三河港がある。 蒲郡市街地の限られた道路を通過してそれらの製品が運搬されるため、市内の幹線道路は常に渋滞が生じている。 また、愛知県内では現在、消防署の広域化が進められており、本市の場合東三河圏域に位置づけられている。その東三河圏域は、蒲郡市を西の端とし、北は長野県境の豊根村から南は渥美半島の先端で、面積は1,700km²（蒲郡市の約３０倍）といった広域なものとなっている。 したがって、市外から応援が来る場合、近くでも東の豊川市・豊橋市からとなるが、現在のような幹線道路の渋滞が続くようでは、十分な応援が出来るとは言いがたい。 また、本市の市民病院をはじめ多くの病院が医師不足で困っている。 そのため、医療の広域化が不可避な状況となっており、病人を短時間で対応可能な病院に輸送しなければならないが、市内の幹線道路は渋滞しているため、十分対応できるとは言いがたい。	平日は、東西の通過交通が多く、市街地の幹線道路が渋滞しているが、道路沿いに家屋が密集しているため、現道を拡幅することは容易でない。 そのため、東西を結ぶ新たなバイパス整備が必要である。 （国道２３号バイパス、国道２４７号中央バイパス） また、広域消防や医療の広域化を有効なものとするためには、広い区域を幹線道路で結ぶ必要がある。

本市には県内で最も集客数が多いラグーナ蒲郡があり、そのアクセス道路は国道２３号のみである。 そのため、休日は周辺の道路が渋滞し、常時日常生活に支障が生じている状況である。（平日は、上記の交通で渋滞）	ラグーナ周辺の東西方向の道路は国道２３号のみであるため、一般市民も日常的に国道２３号を利用せざるを得ない。 現在建設中の国道２３号バイパスはラグーナ蒲郡周辺の人が生活道路として利用するには、遠すぎる。 そのため、ラグーナ蒲郡近くで東西方向にミニバイパスが必要である。 また、国道２３号バイパスとラグーナ蒲郡とを結ぶ新たな道路が必要である。
本市は、南北を山と海に囲まれているため、南北に通る道路は弱く、主要路線としては有料道路の音羽蒲郡線のみである。 そのほか、国道４７３号があるが、岡崎市境にある鉢地坂トンネルは幅員が狭いため、大型車がトンネル内ですれ違い、トンネルの外で待っているのが実情である。 そのうえ、蒲郡市側のトンネル付近の道路線形は悪く、トンネルは老朽化が激しいため、危険な状況である。 そのため、南北道路が少なく、蒲郡港と新東名の(仮)額田 I.C.とを結ぶ重要な国道であるにも関わらず、国道４７３号は市内では緊急輸送道路に指定されていない。	現道は、線形が悪く山裾を通っているため、現道拡幅は困難である。 そのため、ミニバイパスが必要となるが、トンネル延長が長くなり、事業費もかなりの額とならざるを得ない。
観光は、本市の主要産業の１つであり、ラグーナ蒲郡のほか「三谷・蒲郡・形原・西浦」といった四つの温泉地がある。 しかし、宿泊客・観光客ともに減少傾向にあるため、より一層の観光交流都市を目指すため、平成１７年３月に「観光交流立市宣言」を行なった。 さらに、現在は宿泊客２割アップを目指し、さまざまな施策を行っている。	観光客をこれまで以上に誘致するためには、アクセス道路の整備が不可欠であるが、本市は南側を三河湾に、北側を宝飯山地に囲まれているため、主要な交通は東西方向とならざるを得ず、狭い区間に道路や鉄道が集中しており、常時渋滞している。 そのため、新規の道路整備にはこれまで以上に費用がかかるが、まだまだ道路整備が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

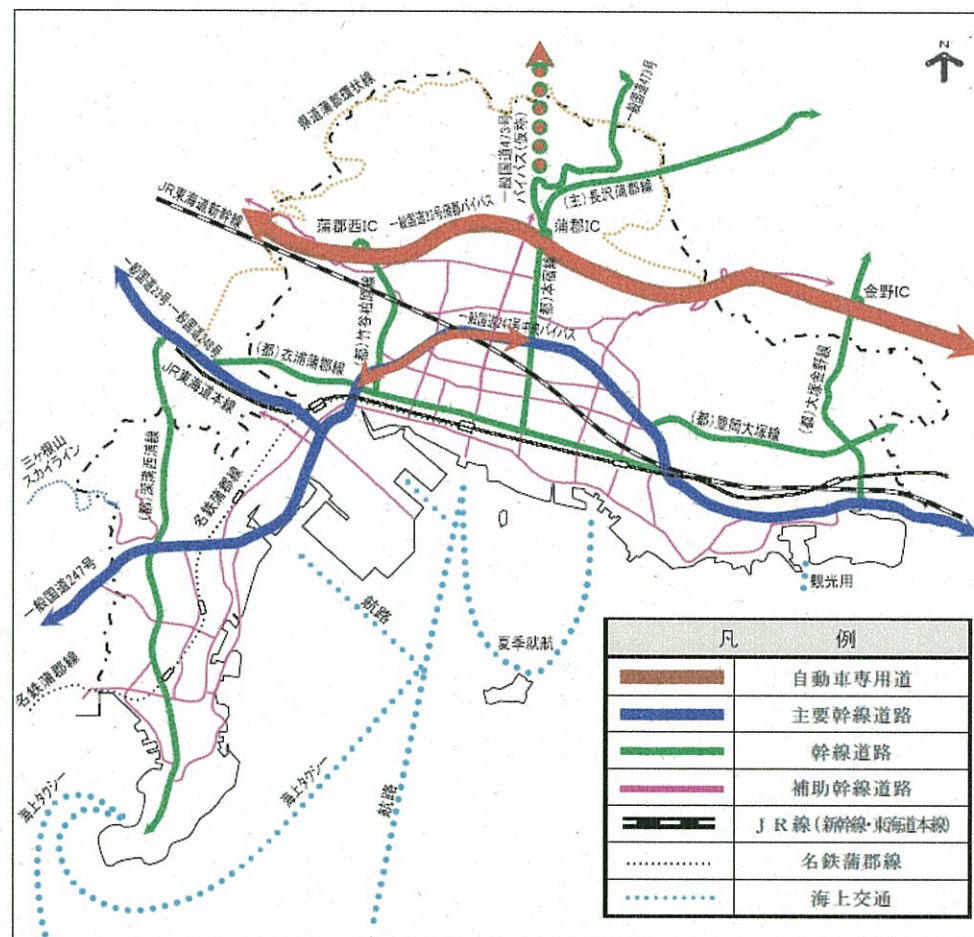
本市の道路網については、東西方向の路線は比較的充実しているものの、南北方向の路線や中心市街地の渋滞を緩和する環状道路が不足している。

そのため、南北方向における未整備路線の整備を図るとともに、物流の円滑化や土地利用の効率化など、都市の発展が期待される広域の道路ネットワーク整備を進める必要がある。

- ・ 国道23号蒲郡バイパス、国道247号中央バイパス等の地域幹線道路の整備
- ・ 国道473号の整備
- ・ 市街地の円滑な道路交通の確保
- ・ 鉄道と道路の交通結節点（駅前広場等）の改善
- ・ 生活道路の整備
- ・ 交通事故減少に向けた交通安全施設の整備
- ・ ユニバーサルデザインを考慮した歩行空間の整備
- ・ 幹線道路における景観整備
- ・ 交通案内システムの整備
- ・ 駐輪場の整備
- ・ 狭あい道路や行き止まり道路の改善
- ・ 防犯面に配慮した街路灯の整備

様式 ③
愛知県蒲郡市

蒲郡市都市計画マスタープラン 2007～2022 より



交通ネットワーク図

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

愛知県蒲郡市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上	・ 国道２３号バイパスの整備	・ 広域的なアクセスの改善が図られることにより、市内にある四つの温泉地「三谷・蒲郡・形原・西浦」とラグーナ蒲郡等への観光客の増加が図られる ・ (仮)蒲郡西 I.C.、(仮)蒲郡 I.C.周辺に物流拠点基地、工業団地を設けることにより、産業を活性化することが出来る ・ 蒲郡港へのアクセス道路を整備することにより、蒲郡港の取り扱い貨物量が増加する ・ 通過交通を国道２３号ＢＰに回すことにより渋滞が緩和される	
・ 都市交通の快適性、利便性の向上	・ 国道２４７号中央バイパスの整備	・ 拡幅困難な市街地の道路の渋滞が緩和される	
・ 国際競争力の強化のための交通サービスの向上	・ 国道４７３号の整備	・ 新東名(仮)額田 I.C.と蒲郡港とを短時間で結ぶことによる蒲郡港の活性化が図れる ・ 岡崎東部地区工業団地や国道２３号バイパス(仮)蒲郡西 I.C.、(仮)蒲郡 I.C.周辺に物流拠点基地、工業団地等を設けることにより蒲郡港の取り扱い貨物量が増加する	蒲郡港はみなとオアシスとして災害時の生活支援拠点として位置づけられており、蒲郡港と国道１号、国道２３号ＢＰ、新東名とを結ぶことは、強い国土作りとして重要な役割を果たす